

令和6年

第8回 教育委員会

日 時 令和6年10月25日（金曜日）
午後5時30分～
場 所 佐呂間コミュニティセンター
第1研修室

佐呂間町教育委員会

報告事項1 令和6年度全国学力・学習状況調査結果に係る北海道版結果
報告書への掲載原稿について

そ の 他

令和6年 第8回教育委員会行事経過報告

月 日	行 事 名	時間	場 所
9月21日	第55回総合文化祭	13:00	町民センター
9月24日	学校経営指導訪問（桑原局長来町）	10:00	各学校
9月25日	学校経営指導訪問	10:00	各学校
〃	第3回町議会定例会（～10月1日）	10:00	議場
10月3日	佐呂間小学校3年生おもちゃかぼちゃ配付	9:00	役場庁舎内
10月4日	佐呂間中学校ソーラーシステム視察	10:30	佐呂間中学校
10月6日	図書館ワークショップ	14:00	児童館
10月7日	オホーツク管内教育委員会教育長研修会（～8日）	13:00	紋別市
10月8日	北教組全道キャラバン	15:00	教育長室
10月9日	姉妹校訪問終了報告会	16:00	会議室
10月10日	令和7年度公立義務教育諸学校の教職員定数加配の計画ヒアリング	11:00	ミーティングルーム
10月11日	職員採用面接試験（高校卒）（～12日）	10:00	会議室
10月14日	佐呂間町スポーツ表彰・スターまつり	9:00	武道館・温水プール
10月17日	北海道町村教育委員会連合会教育長部会研修会（～18日）	13:30	札幌市
10月25日	第8回教育委員会	17:30	コミセン

今 後 の 予 定

月 日	行 事 名	時間	場 所
10月26日	子育て講座（紙すき教室）	9:00	森永乳業佐呂間工場
〃	人形劇講演	13:00	図書館
10月27日	「武道館・温水プール開設30周年記念講演会（文化講演会）」	10:00	武道館・温水プール
10月29日	町議会・教育委員・教職員・社会教育委員による教育懇談会	19:00	町民センター

報 告 事 項 1

令和6年度全国学力・学習状況調査結果に係る北海道版結果報告書への掲載原稿について

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について、北海道版結果報告書に掲載する原稿について下記のとおり報告する。

記

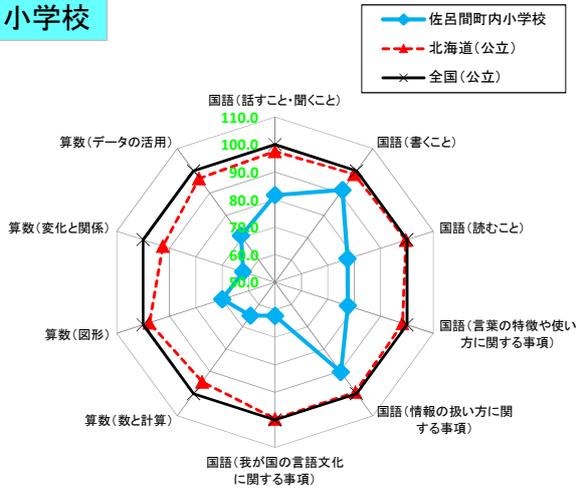
1. 掲載原稿 別紙のとおり

■佐呂間町内の状況及び学力向上策（小学校数:3校、児童数:28人）（中学校数:1校、生徒数:36人）

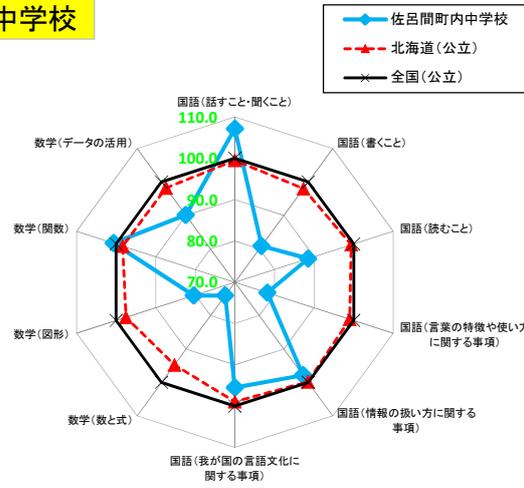
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

小学校

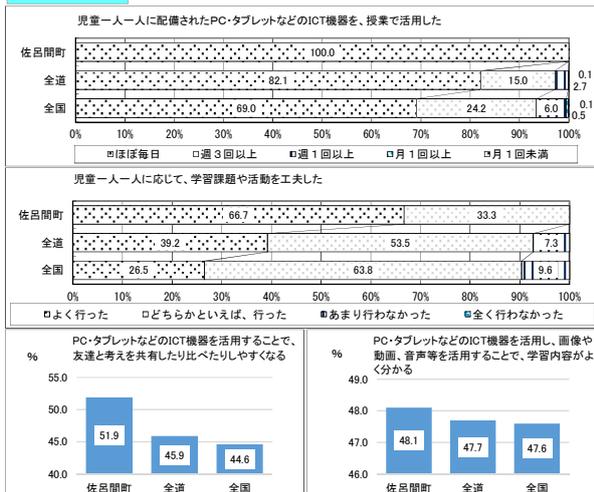


中学校

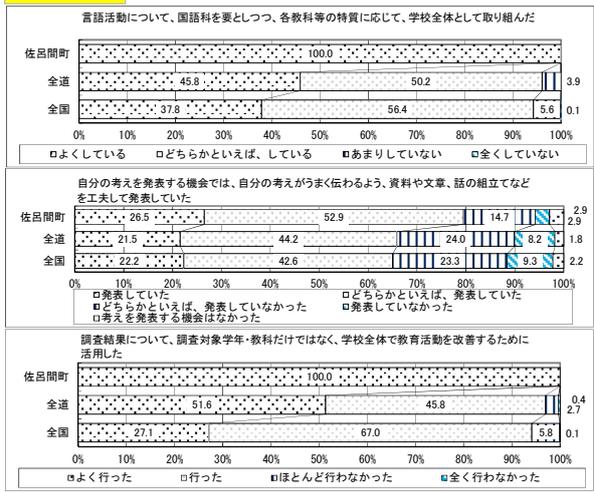


【質問調査の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

授業において、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日活用したことにより、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったとともに、国語の「書くこと」の領域で平均正答率が全国及び全道に最も近くなったと考えられる。

授業において、児童一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫したことにより、PC・タブレットなどのICT機器を活用し、画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かるという回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

中学校

言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んだことにより、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったとともに、国語の「話すこと・聞くこと」の領域で平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

調査結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用したことにより、授業改善が図られ、数学の「関数」の領域で平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【佐呂間町の学力向上策】

- ◎ タブレット端末の持ち帰りによる家庭学習の習慣化の取組や、放課後及び長期休業中の補足的な学習サポートの実施、チャレンジテストの活用、学習規律の指導の実施
- ◎ 教員の指導力向上のための教育委員会主催研修の開催、各種研修会への参加奨励及び経費予算付け、指導主事訪問、ICT環境の有効活用
- ◎ 「オールオホーツクで学力向上を！」に基づいた佐呂間町学校運営協議会による小中(高)一貫教育の推進、学校全体での分析結果の共有及び課題認識の共有の取組の推進
- ◎ 1人1台端末を活用した「個別最適な学び」「協動的な学び」の充実及び児童生徒の学級満足度アンケートやリーディングスキルテスト(基礎的な読む力を測定・診断するツール)等の活用